

令和3年度（2021）

社会貢献事業実績報告書

ソーシャルリレーション事業
認知症予防自立支援事業

社会福祉法人みささぎ会

社会福祉法人みささぎ会 法人訓

私たち、みささぎ会に関わる者は、『先憂後楽』を旨に、福祉の基本である「しあわせ」を追求します。

日々、心には「感謝」を、顔には「笑顔」を常に忘るることなく、精進することを信条とします。

行動指針

- 一. 探究と開拓
- 一. 自立と挑戦
- 一. 情熱と実行

私たちは、「あったらいいな」という事業・サービスの開拓を探究し続けます。

私たちは、自己の能力を最高度に発揮し、新たな事業の源泉とします。

私たちは、誠実であることを誇りとし、情熱を傾け、想像と創造を旨に喜びのたねまきを行い、我も他も生きがいのある世の中にする事に寄与します。

職員陵七ヶ条

学べば為すあり

君子の道に志すや、則ち学び、則ち思ふ。

昼日之を学び、暮夜之を思ふ。

思えば得るあり、学べば為すあり

吉田 松蔭

- 一．至誠にして動かざるものは、未だ之あらざるなり
- 一．素志を持つ
- 一．夢の貯金をしておく
- 一．現場主義をつらぬく
- 一．やると決めたら、できるまでやる
- 一．いつかではなく、いま学べ
- 一．必要なのは実力よりやる気

ソーシャルリレーション事業

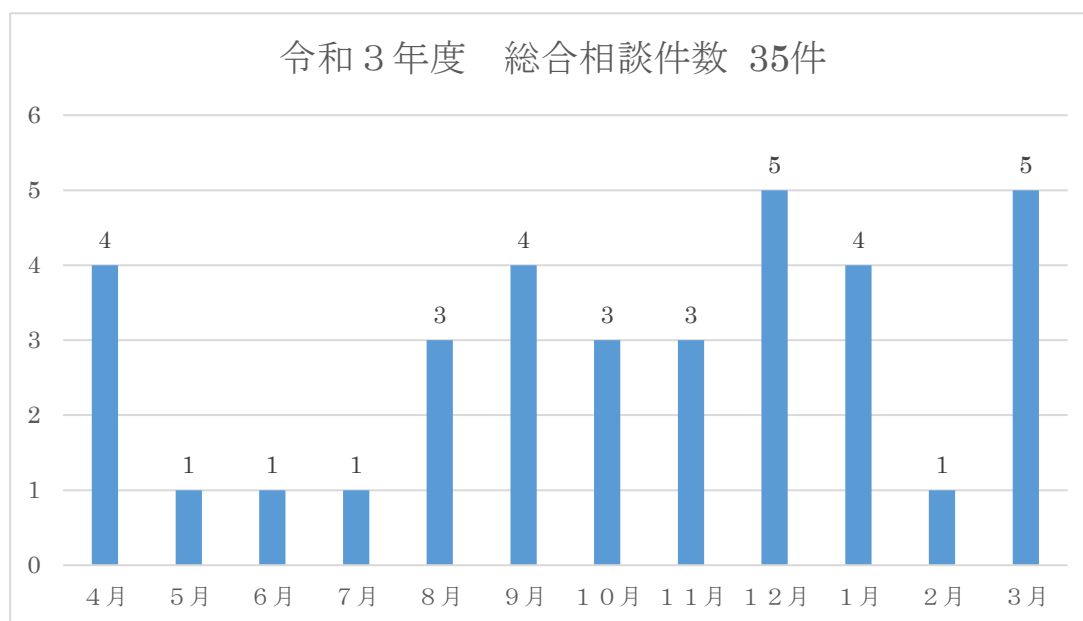
コロナ禍における総合生活相談	 P 1
無料低額宿泊事業「尽心庵」活用事例	 P 3
経済的援助事例	 P 4

認知症予防自立支援事業

はじめに	 P9
事業計画の骨子	 P10
研究協力構成図	 P11
ご利用者の生活行為の維持、改善や	 P12
BPSD 軽減に結び付けさせるために	
デュアルタスクによる歩容調査	 P13
おたっしや通信	 P16
VR による映像と音を活用した	 P18
回想法調査	
MCI対象の方の自宅に	 P24
おける脳トレーニングシート	
藤井寺市の高齢者数	 P26
堺市の高齢者数	 P27

令和 3 年度ソーシャルリレーション事業 報告書

○総合生活相談



紹介経路	件数
社会福祉協議会	23件
市役所生活支援課	7件
社会貢献支援員	4件
居宅介護支援専門員	1件

性別	件数
男	24件
女	11件

世帯の特徴	件数
コロナ減収	15件
各種滞納	14件
精神障がい	6件
病気	5件
高齢	4件
引きこもり	4件
児童	3件
母子	2件
ホームレス	1件
虐待	1件
DV	1件
アルコール	1件

年齢	件数
10代	0
20代	5
30代	8
40代	11
50代	5
60代	2
70代	3
80代	1

今年度の相談件数は 35 件、内実際に支援した件数は 24 件であった。（経済的援助：23 件、尽心庵：1 件、就労支援：1 件）※重複カウントあり

紹介経路で、社会福祉協議会の割合が多くなっているのは、コロナ禍で社会福祉協議会に生活福祉資金や緊急小口資金の貸付けの相談に行った際、社会貢献事業の案内を受けるケースが多いからである。その為、世帯の特徴でも、コロナ禍による仕事の減収や各種滞納しているケースが多い。また、直接コロナの影響はなくても、精神疾患や病気を理由に働けなくなり、社会福祉協議会に相談される方も複数名おられた。就労が今後も困難だと思われるケースでは、生活保護を申請し生活を立て直せるよう支援を行った。

自立支援事業による住宅確保給付金の支給では、令和元年は支給済額 5.8 億円に対して、令和 2 年度は 306 億円と 34 倍であった。また、生活困窮と関連する様々な社会状況（※下記表）でも分かるように支援を要しつつもまだ支援に繋がっていない人がいることが推察される。

生活保護の相談件数	約37.9万件 (令和元年度生活保護法施行事務監査の実施結果報告)
生活保護の申請件数・開始件数	約22.3万件・約19.7万件 (被保護者調査(令和元年度確定値))
生活保護受給者数	約204万人(令和3年7月速報値)
失業期間2年以上の長期失業者(15～64歳)	約38万人(令和3年4～6月期・労働力調査)
地方税滞納率(金額ベース・現年分)	0.7%(令和元年度)
国民健康保険料(税)滞納世帯数	約234万世帯(令和元年度)
過去1年間に経済的事情により、電気・ガス・水道料金の滞納があった世帯 賃貸住宅家賃の滞納があった世帯	3.3%・3.4%・3.1% 5.0%(平成29年生活と支え合いに関する調査)
貯蓄のない世帯	13.4%(令和元年国民生活基礎調査)
若年無業者(15～34歳の非労働力人口のうち家事も通学もしていない者)	約69万人(令和2年平均・労働力調査)
ひきこもりの者 15～39歳 40～64歳	54.1万人(推計数) (平成27年内閣府「生活状況に関する調査」) 61.3万人(推計数) (平成30年内閣府「生活状況に関する調査」)
ヤングケアラー(世話をしている家族が「いる」と回答した子どもの割合)	5.7%(中学生)、4.1%(全日制の高校生) (令和3年ヤングケアラーの実態に関する調査研究)

今後の取り組みとして、令和3年11月に藤井寺市社会福祉連絡会で、CSW 及び社会貢献事業の窓口担当をエリア毎に決めたので、施設間で顔の見える関係を築き、各施設と連携しながら支援を行っていただけるよう情報共有(受付表の活用、ICT 化：LINEWORKS の活用)や連絡を密にして、CSW として実践する人を増やし、地域福祉の底上げを目指していきたい。

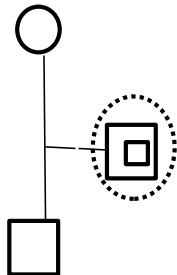
NO	初回面談日	紹介経路	年齢	性別	世帯数	相談内容	対応	連携した関係機関	経済的援助 申請金額
1	4月5日	社会貢献支援員	39歳	男性	独居	家賃2ヶ月滞納で退居。	○尽心庵利用（4/7～5/1） ○転居・転入手続きや引っ越し後の洗濯機や家電等支援	社会貢献支援員	25,000円
2	4月9日	藤井寺市社会福祉協議会	40歳	女性	母子	どうしても家賃の一部1万円を期日までに支払わないといけない。	○1万円を後日返済する条件でお貸しするも理由をつけて結局返済されず。	藤井寺市社協CSW	10,000円
3	4月19日 （1回目） 9月1日 （2回目）	藤井寺市社会福祉協議会	47歳	女性	5人世帯	夫が入退院を繰り返し、相談者もコロナ禍で収入が減収となったので、水道代が払えなくなった。（1回目）電気代、ガス代が払えなくなっていた。（2回目）	○1回目は総合貸付けも受けており、水道料金の滞納分のみ支援する。○2回目は、電気とガスの滞納分の支援と夫が就労できる見込みがない為生活保護申請の付き添い等	藤井寺市社協CSW 藤井寺市役所生活 支援課・自立支援 事業	96,239円
4	4月30日	藤井寺市社会福祉協議会	42歳	男性	独居	持病の糖尿病の影響で立ち仕事に困難を為辞める。生活保護を申請する	○滞納料金の支払い、家賃の保証会社への連絡を行う。 ○生食材や日用品等を届ける。	藤井寺市 生活支援課	101,228円
5	6月3日	藤井寺市社会福祉協議会	53歳	男性	父と同居	以前フードバンクの申請をして食材を届けたが父親の年金が入る6月15日まで食べきってしまい、食材支援の依頼が入る	○年金の入るまでの間の食材支援のみ行う。	藤井寺市社協CSW	6,201円
6	8月26日	藤井寺市社会福祉協議会	30歳	男性 ※トラ ンス ジェン ダー	アルバイ トで知り合 った 女性と二人	社協の貸付けの申請に行かれた際、家賃滞納等あり相談を受ける。	○食材支援	藤井寺市社協CSW	2,132円
7	8月30日	藤井寺市生活支援課	40歳	男性	独居	留置所から出てこれられ現在の藤井寺に転居。生活保護受給開始までの間の支援依頼あり。	○生活保護受給開始までの食材、日用品、調理器具等届ける。○藤井寺市社会福祉協議会のフードサポート事業の残りの食材を届ける。	藤井寺市生活支援 課 藤井寺市社協CSW	4,755円

NO	初回面談日	紹介経路	年齢	性別	世帯数	相談内容	対応	連携した関係機関	経済的援助 申請金額
8	9月1日	藤井寺市生活支援課	62歳	男性	独居	藤井寺の現住所で生活保護を申請、受給開始が9月24日頃になる予定なのでその間の食材等依頼	○生活保護受給開始までの食材、日用品、調理器具等届ける。○藤井寺市社会福祉協議会のフードサポート事業の残りの食材を届ける。	藤井寺市生活支援課 藤井寺市社協CSW	3,848円
9	9月15日	藤井寺市生活支援課	60歳	男性	独居	覚醒剤で逮捕。藤井寺市で生活保護を申請、受給開始までの間を支援して欲しい。	○生活保護受給開始までの食材、日用品、調理器具等届ける。○藤井寺市社会福祉協議会のフードサポート事業の残りの食材を届ける。	藤井寺市生活支援課 藤井寺市社協CSW	6,669円
10	9月18日	藤井寺市社会福祉協議会	20代	男性	不明	8月に仕事を解雇、所持金も20円しかない。と藤井寺市社協に相談に行かれる。	○3日分の食料を提供する。 ○本人から貸付けや住宅確保給付金、食材支援等すべて拒否	藤井寺市社協	0円
11	10月8日	藤井寺市社会福祉協議会	26歳	男性	3人世帯	今年の8月中頃から精神疾患を患い仕事に行く事ができなくなる。10月に入り、生活保護を申請。その間の食材等支援の依頼あり。	○食材や日用品の提供、通信費の支払い等支援 ○惣社保育園の野村園長からオムツを無償で受け取る。	藤井寺市社会福祉協議会	43,639円
12	10月13日	藤井寺市社会福祉協議会	45歳	女性	両親と子の4人	昨年度から貸付けを受けている。収入が安定しない為、アルバイトをしたい。	○10/16(土) 16:00 藤井寺特別養護老人ホームで面談 アルバイト継続中	藤井寺市社協	0円
13	11月5日	藤井寺市社会福祉協議会	57歳	男性	知人と同居	膀胱がんや十二指腸潰瘍等で2年前から仕事をしていない。	○食材や日用品の提供 ○就労支援等 ○生活保護申請	藤井寺市社協	83,612円
14	11月8日	藤井寺市役所生活支援課	44歳	男性	独居	以前社貢献で関わった方で、12月20日に給料が20万入る見込み。その間の生活が苦しい。	○家賃支払いを持ってもらえるよう助言○社会福祉協議会で食材支援	藤井寺市役所 藤井寺市社協	0円
15	11月15日	つどうホール	30代	女性	5人世帯	9ヶ月と小学2年生の衣類等が必要	○施設で掲示。中本副主任より衣類・おもちゃの提供あり	つどうホール	60,679円
16	12月2日	北第1 包括	80代	女性	独居	家賃滞納、家主より2ヶ月分支払わないと退所の手続きに入る。と連絡あり。	金銭管理、支払い方法等担当のCM、本人と一緒に考える年金の範囲内での生活ができるように提案	居宅介護支援事業所	0円

NO	初回面談日	紹介経路	年齢	性別	世帯数	相談内容	対応	連携した関係機関	経済的援助 申請金額
17	12月3日	つどうホール	50代	男性		現在掃除のパートをしているが、次回給料が12/15予定。妻とは離婚し、11月に入院した事もありカード会社・妻からお金を借りている状態	○12月3日にレトルト食品等 食材の支援	つどうホール	8,495円
18	12月13日	藤井寺市役所生活支援課	20代	男性	独居	藤井寺市役所生活支援課より、生活保護受給までの間の食材支援等依頼あり	○12月13日 測本・三井で食材を届ける。携帯料金滞納分支払い。	藤井寺社協 藤井寺生活支援課	約7万円
19	12月22日	社会貢献支援員	50代	男性	父と同居	甥（GH入所）を自宅へ連れ戻したい為、動いている。生活に困っているかもしれないと連絡を受ける。	○同居の父の安否確認。 ○甥の希望、事実確認。 ※50代男性引きこもり。父の年金で生活を送っている。	社会貢献支援員 藤井寺市社会福祉協議会 藤井寺市地域包括支援センター	0円
20	1月18日	藤井寺社協	40代	女性	母子	1年程前から仕事をしていない。中学1年の子がいる。	食材費、光熱水費、日用品費、電話代支援	藤井寺社会福祉協議会 子育て支援課	73,044円
21	3月1日	藤井寺社協	40代	男性	独居	1年前と令和3年11月に食材支援を行った方 3月2日藤井寺社協にさとうのご飯10個受け取る	○食材支援	藤井寺市社会福祉協議会	0円
22	3月9日	藤井寺社協	70代	女性	母子	藤井寺市生活支援課自立支援事業で自立支援金申請中、息子引きこもり来週から仕事復帰。	○食材等支援	社会貢献支援員	90,886円
23	3月11日	藤井寺市生活支援課	30代	女性	母子	藤35歳女性、夫と離婚後西成区から1歳の子と一緒に令和4年1月頃藤井寺市内にいる友人宅（生保）に居候していた。昨日津堂のハイツに転居。所持金200円	生活保護受給まで親子で過ごせる環境設定を行う。	藤井寺社会福祉協議会 子育て支援課	19,753円
24	3月15日	藤井寺社会福祉協議会	70代	男性		過去に自己破産。厚生年金受給者。所持金僅か。	電気代滞納分と年金が入るまでの食材支援	藤井寺社会福祉協議会 生活支援課	14,146円

相談援助事例（新型コロナウイルス感染症関係）

尽心庵

新型コロナウイルスの影響で仕事がなくなり、アパートを追い出された方の支援										地域	和泉市
主な対象者	性別	世帯の特徴				☐ 高齢	☐ 母子・寡婦	☐ 身体障がい	☐ 知的障がい		
	男性					☐ 精神障がい	☐ ホームレス				
	年代					☐ 虐待	☐ DV	☐ 病気	☐ アルコール依存		
	30第					☐ 認知症	☐ 介護認定				
	世帯					☐ 多重債務	☐ 各種滞納	☐ 無収入	☐ 不就労		
	独居					☒ その他(コロナ減収)			☐ 生活保護		
紹介経路	社会貢献支援員 末包氏より、和泉市を退居し、仕事場の近くの八尾に引っ越す為その間尽心庵を利用したい。										
相談内容	2020年10月から藤井寺のネジ加工の工場で働いている。現在、家賃2ヶ月滞納(和泉市)。大家とは相談し今後返済していく。職場が遠い為、八尾に住居を構える予定だが所持金9千円であり、すぐに入居できない為、尽心庵入所し貯金してから八尾へ移りたい。					家族関連図 					
対応 (相談・支援の内容)	4月6日～5月1日まで尽心庵。その間に10万円程働いて貯金される。真面目に仕事をされており、現在は派遣であるが正社員にならないかと派遣先に声を掛けられている。給料が入っても滞納している家賃の返済(毎月1万円)等ある為今回は宿泊料・食事代を全て無料とした。仕事に行く日等確認し、必要時のみ食事を尽心庵に届ける。仕事上平日に役所へ行けない事もあり、八尾への転入手続きは社会貢献支援員の下永田氏も協力した。また、八尾のハイツに入居の際、照明等必要な物品を下永田氏が届ける。										
社会資源の活用	生活困窮者レスキュー事業、無料低額宿泊所「尽心庵」										
経済的援助	大阪しあわせネットワーク基金										
連携機関	社会貢献支援員 末包氏・下永田氏										
主支援施設	藤井寺特別養護老人ホーム					主担当CSW		淵本 直志			

相談援助事例（新型コロナウイルス感染症関係）

事例 No. 2	持病の悪化で働くことができない独居男性の支援				地域	藤井寺市大井		
主な対象者	性別	世帯の特徴			☐ 高齢	☐ 母子・寡婦		
	男性				☐ 精神障がい	☐ 外国籍	☐ 身体障がい	☐ 知的障がい
	年代				☐ 虐待	☐ DV	☒ 病気	☐ アルコール依存
	40代				☐ 認知症	☐ 介護認定	☐ 不就労	☐ 生活保護
	世帯				☐ 多重債務	☒ 各種滞納	☐ 無収入	
	独居				☒ その他(コロナ減収)			
紹介経路								
相談内容	藤井寺市の生活支援課相談後藤井寺市社協へ。光熱費が支払えていない。家賃滞納もあり。今後生活保護の申請を行うがそれまでの間支援の依頼あり。17年前前から糖尿病患い仕事は長続きしていない。令和3年1月に携帯ショップで働くも立ち仕事で困難な為退職。貸付けの対象にはならないから生活保護申請予定。光熱費2ヶ月程滞納。家賃も滞納している。				家族関連図 			
対応 (相談・支援の内容)	日本賃貸住宅保証機構に連絡し、家賃を社貢献で支払う。(2ヶ月分) 藤井寺市生活支援課へ同行、生活保護申請の手続きを行う。また、健康保険証も発行する。 水道・ガス・電気の滞納分を社貢献で支払う。生活保護受給開始までの約1ヶ月、定期的に食材や日用品を届ける。 生活保護受給開始となり、また特病の糖尿も通院が開始となったので支援終了とした。							
社会資源の活用	生活困窮者レスキュー事業							
経済的援助	大阪あわせネットワーク基金から101,228円を支援							
連携機関	藤井寺市社会福祉協議会							
主支援施設	藤井寺特別養護老人ホーム				主担当CSW	淵本 直志		

老後を自分らしく、笑顔で生き活きと暮らして頂く為 認知症の予防、認知症の進行防止の可能性を追求

超高齢化社会の進む我が国においては、認知症予防、認知症の進行防止は喫緊の課題である。認知症ケアは確立されておらず、地域社会や介護現場においても認知症高齢者に対して提示できる効果を裏付けされた物はないに等しいと言える。その様な現状の中、認知症予防自立支援プロジェクト推進室は、認知トレーニング（潤脳活動）が、特にどの認知機能の維持に効果があるのかを検証してきた。特に、認知機能の維持に大きく左右される生活行為の自立や低下に於いて、年齢、性別等のサブ解析を実施することで、機能維持に適した生活要因を観察し考察する事で、より生活行為の自立に結び付く支援方法をケアワーカーと共に検討、実践してきた。

当法人が創立当初から実施している地域健常者向けの介護予防教室では、集団スケールの多角的解析により、複数年における経過の分析を実施し、エビデンスとして示しながら、認知症予防の具体的方法を毎回の教室開催時に分かりやすく伝えている。

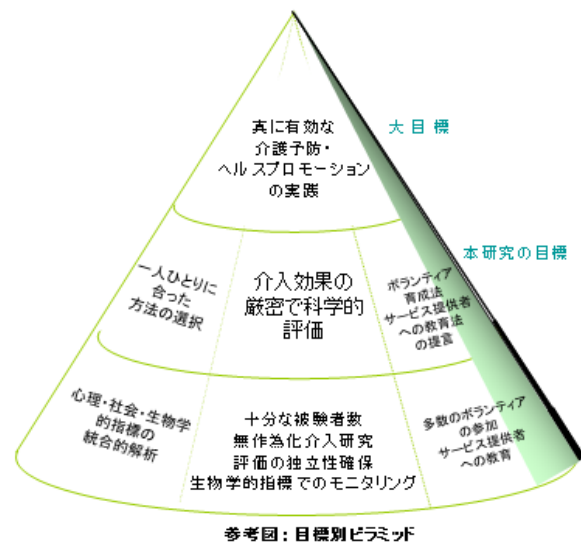
平成26年から開催している「介護力教室」は、認知症高齢者を在宅で介護しているご家族に対し、正しい認知機能の知識と、お世話のあり方を伝えると共に、トレーニングを通じて関わり方のコツを掴んで頂けるように支援してきた。又、家庭介護者同士が集う事で、日頃の想いを受け止め合うと共に、介護の工夫を伝え合う相互学習の場として活用して頂いた。

今年度は、新型コロナウイルスの関係で、介護力教室と介護予防教室は全面的に中止を余儀なくされた。

ただ地域健常者の方々（約1100名）に脳トレーニングシートを配布し、認知機能の低下に努めた。

特養入所者に向けてはユマニチュード技法を活用し、ケアワーカーと共に利用者の主訴の実現に努めていく。認知症ケアにおけるエビデンスの追求として、ユマニチュード技法を活用する事でご利用者の表情変化や動作による表現も含めたコミュニケーション能力がどのように維持されているか等、認知機能スケール等の活用により、それらの能力検証にも力を注がなくてはならない。

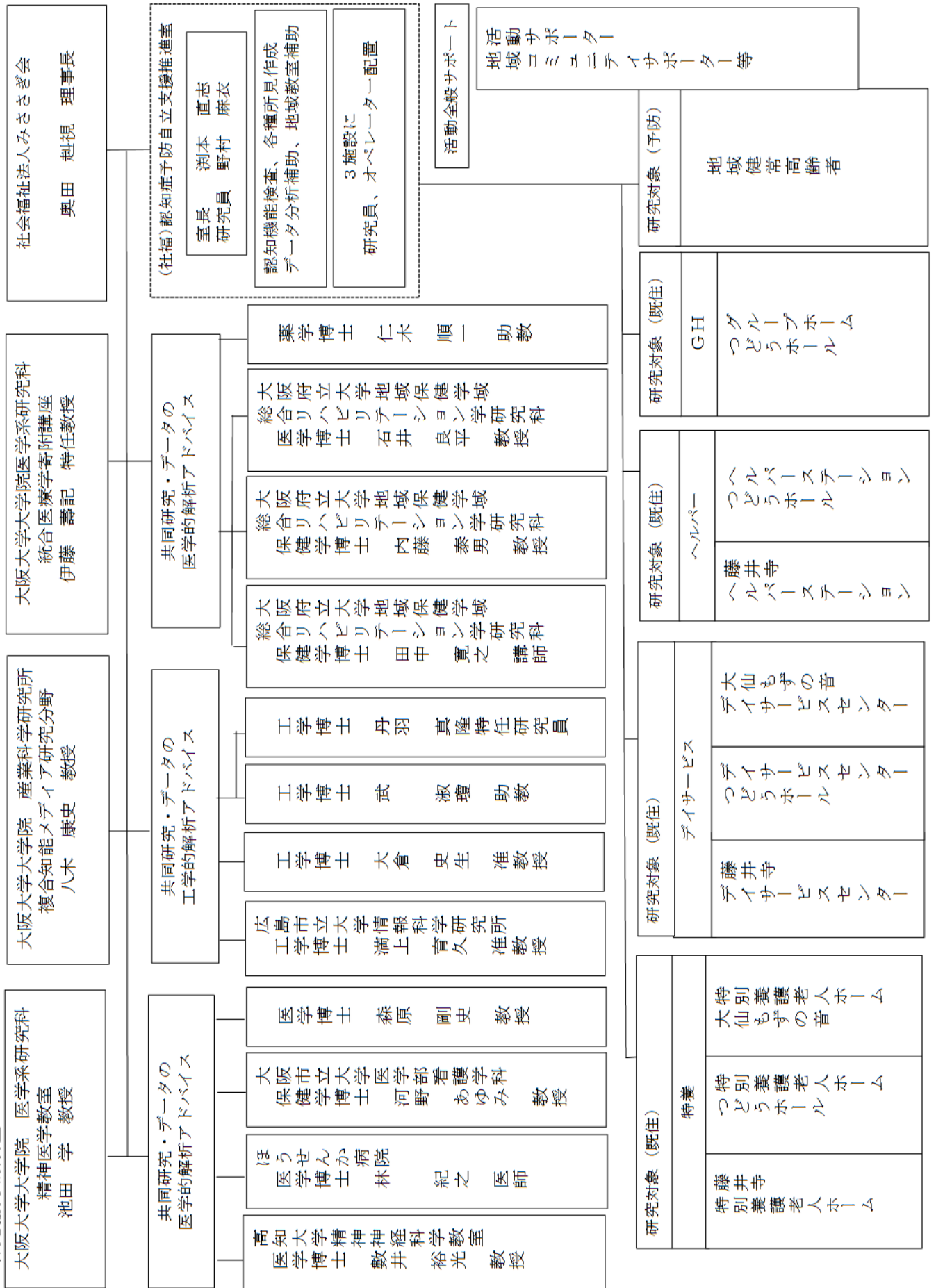
認知機能を維持改善するだけでなく、維持された認知機能が日常の生活行為に活かされる（般化効果）事が、この事業の目的であり、我々が真に目指している事である。



認知症予防自立支援プロジェクト推進室 事業計画の骨子

予備群(一般高齢者)	初期認知症高齢者 (若年性認知症を含む)の方	要 援 護 状 態 (要 支 援 Ⅰ・Ⅱ、要介Ⅰ・Ⅱ)の方	要介護状態(要介Ⅲ ～Ⅴ)の方
目的：認知症予防の普及 自己の機能(身体機能、認知機能)を発揮し、生活行為を成就し、社会生活を維持するという認知症予防の考え方を普及。当法人主催の出前介護予防教室や地域主催の会合等で認知機能を発揮する重要性を伝え、具体的方法を紹介すると共に転倒予防体操、認知症に関する知識の普及や受け止め方を啓発する。 【出前介護予防教室】 各地区に出張し、集会所等を借りて、以下の内容で教室を開催。 潤脳活動 様々な認知機能を発揮していただくための知的活動 ・マス計算・書き写し(注意力・視空間認知の発揮) 転倒予防体操 有酸素運動や大腰筋の強化、バランス力の強化を図る体操 潤脳講座 独自資料で認知症の知識普及や受け止め方を啓発し、考え合う 集団認知機能検査 認知機能検査を実施し、データ分析と考察を行い、個人報告書を作成。教室時に解説と共に配布し、予防への意識、向上を図る 二重課題 (Dual task) の実践 身体面および認知面に関する二重課題を実施し、計測内容を還元。 衰えやすい認知機能である注意分割機能や遂行機能の維持を図る。 【認知症予防啓発活動】 各地区の行事等で認知症の講演を行い、知識や理解の普及を行う。	目的：認知症の進行防止 認知症による認知機能の低下が始まり、自身の変化に戸惑う ご本人に寄り添い、一緒に考えて分かり合える関係作りから始まる。そこで、生活の中でできる認知機能が低下しないための活動を提示していく。ご本人と共に生きる為の生活の有り様を自ら考え、行動できる生活支援を行う。	目的：機能維持・認知症症状の進行防止 DSやGHで実施している潤脳チャレンジ活動が利用者の認知機能の維持に繋がっている事を認知機能検査の個人報告書の配布で示し、本人や家族の自信に繋げる。維持された認知機能が生活行為に反映し、行為の自立、自信や笑顔の回復に繋がるようユマニチュード技法を活用したサポート内容や評価への助言を行う。 【認知機能検査の実施と報告書の配布】 デイ利用時に検査を実施。データ分析と考察を行い、報告書を作成する。また本人と家族に説明ができる様、報告書の内容をスタッフに分かり易く解説する。 【Dual Task 課題の提供】 DSにて頭と体を同時に活用する歩容トレーニング (Dual task) について独自の専用機器を用いて、足踏み等の身体活動と計算等の思考活動を楽しみながら続けることで、心身機能の維持ならびに認知症症状の進行防止につなげる。	目的：介護状態に合わせたケアへの助言 『ユマニチュード技法』を通じ、職員-利用者間での信頼関係を築き、心身共に安心できる環境の下、無理のない身体活動や思考活動を行い、自分のしたい事を可能な限り訴えていただく。 身体面では過剰なサポートを避け、残存機能をできる限り活用していただく。又昔の経験を思い出せる様なアクティビティを行ない、記憶を中心にした認知機能を刺激する事で、して欲しい事等の主訴を訴えていただく。 身体面では関節の拘縮を防ぐ等、入浴時のマッサージ等、無理をしない形での関節や筋肉刺激を行ない、いわゆる寝たきり状態を防ぐ。又認知機能面では、五感を刺激するアプローチ、例えば物を見て触ってもらう、料理の美味しい匂いを嗅いでもらう等、快刺激を感じていただき、“安心”を提供する。 上記内容について、必要時会議等に出席し、助言を行う。
【介護家族向け介護力教室】 認知症高齢者を在宅介護している家庭介護者向けに、当事者同士の意見交流を行い、精神的孤立感の軽減を図る。また、優しさのある介護の実践法であるユマニチュード技法など、認知症介護の具体的な方法を共に学び合う。 ・ユマニチュード技法の体験や認知症のミニ講義、介護技術講習を通じて、認知症症状（認知機能・中核症状とBPSDとの関係）の理解を深め、介護側の優しさを伝えられる具体的な方法を学び合う。 ・在宅での困り事交流：参加者のお困り事や介護負担感などについて介護の具体的な方法などを考える。			

《研究協力構成図》



ご利用者の生活行為の維持、改善や BPSD 軽減に結び付かせるため

認知機能スケールの点数が維持、向上されても、生活行為が成就されなければ、ご利用者の生活の質が向上したとは言い難い。

みささぎ会としてご利用者の実生活への着眼を忘れず、ご利用者の認知機能の維持、向上だけを目的とするのではなく、ご利用者の生活行為の維持、改善や BPSD 軽減に結び付かせるための日々のケア方法（認知機能トレーニング含む）の確立を目的とする。

A 入所サービスの場合

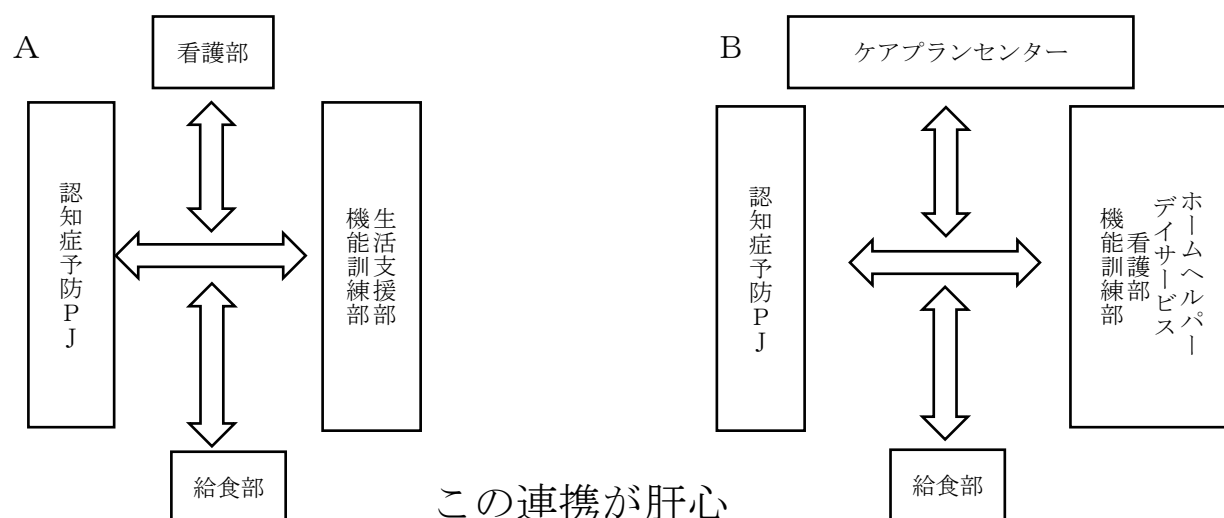
例えば、特養での新規入所者で、暴言、暴力、徘徊などの BPSD の症状が強く出ている方に対して、ユマニチュードを用いて信頼される人間関係を構築し、ケアすることで、BPSD をやわらげたり、情緒の安定に結び付いている事例を逃さずにビデオ撮影し、変化を検証する。

B 在宅サービスの場合

例えば、新規デイサービス利用者で、ケアマネジャーからの情報としてご自宅にて更衣がうまくできない方に対して、サービス利用の中で認知機能トレーニングやアルクダケ、PT による機能訓練など日々のケアを通じて、促しなどでご自身による更衣がうまくできるようになるなど、生活行為の自立支援に結び付く事例を逃さずビデオ撮影し、変化を検証する。

我々の日々のケアがご利用者の生活行為の維持、改善や BPSD の軽減に結び付いていることが動画で可視化されれば、間違いなく職員のやりがいにもつながる。

特に②については在宅での様子を把握する必要があるため、自法人ケアマネジャーと連携し自宅での情報収集を行う。



認知症の予防ならびに進行防止に関する研究

～デュアルタスクによる歩容調査～

デュアルタスクとは、2つの課題を同時に行う事を意味する。より身近な言葉で言うと「ながら動作」のことである。同時に2つの情報を処理する際に、それぞれの課題に注意を分配したり、切り替えたりする力が必要とされる。このように同時に2つの情報を処理することは、脳に負荷がかかり、認知機能の活性化につながると考えられる。

デュアルタスクには、様々な実践方法がある。テレビを見ながら洗濯物をたたむ、会話しながら料理をする、といった日常生活における行為もデュアルタスクである。しかし、あまりに簡単すぎる課題、あるいは日常生活において慣れている課題は、負荷が少なく認知機能の活性化にはつながりにくい。

そこで、本事業では、デュアルタスク歩容機「アルクダケ」を活用し、高齢者にとってより負荷の高いデュアルタスクを提供する。アルクダケは、大阪大学産業科学研究所の八木研究室で開発された装置である。歩くという身体的な課題と計算という認知的な課題の2つを同時に行ってもらう。

本事業では、デイサービスを利用している要支援、あるいは軽度要介護の高齢者と地域在住の健常高齢者を対象として、アルクダケを使ったデュアルタスクトレーニングを提供する。そして、このトレーニングが参加者の認知機能の維持・向上につながるかを分析する。さらに、本事業の結果が、今後の認知症予防にどのように寄与し得るか、その可能性を考える。

なお、本事業は、大阪大学大学院精神医学教室、大阪大学産業科学研究所、社会福祉法人みささぎ会の共同研究事業である。

目 的

デュアルタスク訓練が認知機能の維持・向上につながるかを分析する。

1. 年齢別・介護度別の傾向

2. 個別の事例

参加対象者(令和4年3月末時点)

藤井寺 デイサービスセンター利用者 26名

デイサービスセンター つどうホール利用者 28名

大仙もずの音 デイサービスセンター利用者 24名

グループホーム つどうホール 3名

地域在住高齢者 0名

合 計 78名

実施場所

藤井寺特別養護老人ホーム 1F 食堂

高齢者ケアセンター つどうホール 機能訓練室

高齢者ケアセンター 大仙もずの音 1F フロア

実施期間

平成29年5月～

装置(アルクダケ)

アルクダケは、縦 68cm・横 120cm ディスプレイとフットセンサーから構成される。ディスプレイには、計算課題や参加者のカメラによって撮影されている歩行の様子が映される(下左図)。フットセンサーはディスプレイから 300cm 離れた地点にある。フットセンサー上には、参加者が安全に歩行するために高さ 85cm の補助柵が設置されている(右図)。参加者は、左右の手で補助柵を掴みながら歩行し、歩行速度がフットセンサーによって測定される。また補助柵には、計算課題で使用するボタンが左右に 2 つ設置されている。

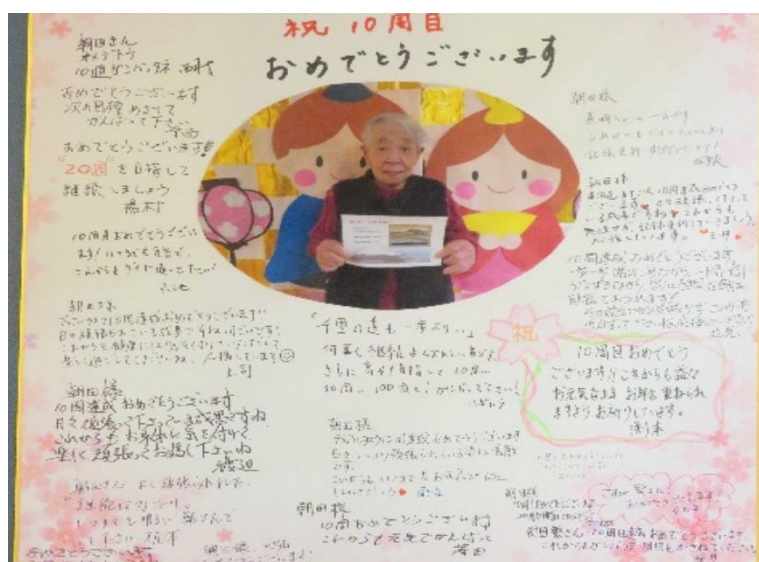


手続き

デュアルタスクは、計算課題と歩行から構成される。1セッションは、計算課題のみのシングルタスク、計算課題と足踏みを同時に行うデュアルタスクのブロックから構成される。各ブロックは 30 秒で、1セッションの実施時間は 80 秒である。

計算課題は、「かんたん」「ふつう」「すこしむずかしい」「むずかしい」の 4 つのレベルがある。「かんたん」レベルでは 1 桁と 1 桁の足し算、「ふつう」レベルでは 1 桁と 1 桁の足し算と引き算、「すこしむずかしい」レベルでは 2 桁と 1 桁の足し算、「むずかしい」レベルでは 2 桁と 1 桁の足し算と引き算が課される。計算課題は、ディスプレイに提示される。「 $1+6=?$ 」のように問題が 1 秒提示された後に、ディスプレイ右側と左側に回答の選択肢が提示される。参加者は、選択肢と対応する左右のボタン押しによって回答を選択する。正答した場合には、即座にディスプレイ上に赤い○が提示されると同時に「ピンポン」という音が鳴る。誤答の場合には、即座にディスプレイ上に赤い×が提示されると同時に「ブブー」という音が鳴る。

デイサービスの利用者は基本的に、デイサービスに来た日に、デュアルタスクに取り組むので、参加者によって実施頻度は変動があった。又、東海道五十三次 5,400 歩を 10 周走破された方もいらっしゃいました。



おたっしや通信



集中して計算ドリルに取り組中



輪切り牛乳パックで、櫓作り



ペットボトルからなかなか割り箸が出てきません

脳トレーニングにチャレンジ

脳トレに、自ら積極的に参加され、計算ドリルやお買い物計算などに取り組んでおられます。

同じテーブルや顔なじみの方々、そしてスタッフとも、気軽にお話をされています。午前中は皆で行う手足体操に参加され、また午後からは、ペットボトル割り箸出しゲームなどのレクリエーションにも参加され、時には真剣に取り組まれながら、楽しく過ごされています。



バランスよくできています(赤ライン)

デュアルタスク歩容器の実施結果表です。赤のラインが今回の結果です。六角形のグラフは、上から右回りに、【計算のはやさ】、【正答率】、【体の安定度】、【もも上げの大きさ】、【計算しながらの足踏み速度】、【足踏みのみの足踏み速度】の6項目です。計算もはやく、正答率も高くなっています。ひざもよく上がり、足踏み速度もはやく(1回で約100歩)、全体的に、とてもバランスよくできています。



しっかり太ももを上げておられます

歩容器での東海道五十三次走破に週二回、継続的に取り組まれ、現在は難しいBコースに取り組まれています。二つのことを同時に行うデュアルタスク活動は、脳のトレーニングになりますので、これからも継続していただきます。

デュアルタスク活動の様子

デイサービスでのご様子



東海道五十三次、2週目到達
おめでとうございます



手足体操 ②



手足体操 ①



玉ねぎを苗から育てました
大きな玉ねぎを収穫しました



色紙ができあがりました
(創作活動)

「物事を覚えて思い出す力」などをしっかりと維持しておられます

計画力・実行力を鍛えましょう

「日時や場所を把握する力」「物事を覚えて思い出す力（記憶力）」そして「理解し判断して行動する力」を、高いレベルで維持されています。

判断して行動する力を維持・強化するために、脚、肩、背中などのストレッチ体操、坐位でのコグニステップ体操（右足、左足を順番に外側に動かし、また内に戻す）、マス計算など、先ず一週間の予定を、ノートなどに書き留める習慣をつけましょう（計画力）。

そして、例えば行ったコグニステップ体操について、毎日何を、何回したかなど、行った内容をカレンダーなどに記録すると、記憶力の鍛錬にもなる（記憶力の維持・強化）と同時に、計画通りに行っていることを、視覚的に確認することができ、このことが自信と喜びにも繋がります。

機能訓練の様子

機能訓練にしっかりと取り組まれています。膝関節痛もなく、歩行も安定しています。膝関節痛に注意して運動を継続し、体重が増えないように注意しましょう。（機能訓練担当 理学療法士 揚村）。

歩行・立上りのための
股関節筋力トレーニング



股関節屈曲筋肉を増強する
筋力トレーニング



スクワット 立ち上がりのための膝筋及び股関節強化を行う筋力増強トレーニング



足関節前屈トレーニング

少しの工夫で認知症予防！

昨今、コロナ禍の状況のもと、人と話す機会も随分と失われています。しかし、お互いに会話をし、コミュニケーションを図ることは、認知症予防のために、とても大切なことです。

人と会話をする時は、相手の表情や気持ちに注意を向けながら話をする必要があります。会話が複数人の場合には、更にそれぞれの方に、適切に注意を払うことも必要となります（注意力）。また、話している内容について、自分が知っていることを思い出すことも求められます（記憶力）、高度な頭脳処理が必要となります。

デイサービスのご利用者様などと、例えば、栄養バランスの採れた食事や、身体を柔軟に動かす方法、或いは最近の出来事などについて、話し合ってみる習慣をつけてみましょう。

社会福祉法人みささぎ会 藤井寺デイサービスセンター
社会福祉法人みささぎ会 認知症予防自立支援プロジェクト推進室

Virtual Reality

VRとは、人間の感覚器官に働きかけ、現実ではないが実質的に現実のように感じられる環境を人工的に作り出す技術の総称

(IT用語辞典; <http://e-words.jp/w/VR.html>)



【研究担当機関】

社会福祉法人みささぎ会

大阪がん循環器病予防センター：伊藤壽記

大阪大学：仁木一順、矢原恵美、岡本美緒、高橋奈々、木口穂乃里

大阪府立大学：内藤泰男、石井良平、田中寛之、上野慶太

(Steam The Blu; <https://store.steampowered.com/app/451520/theBlu/?l=Japanese>)

この取り組みの目的

これまでの研究でわかっていること

✓昔のことを思い出す「**回想法**」を継続的に行うことは、心身にいい影響を与え、物忘れを防ぐ効果があることが明らかになっています (Huang HC et al. *J Am Med Dir Assoc.* 16:1087-1094, 2015)

✓タブレットを使い**映像と音を活用した回想法が従来法よりも効果的**だったといわれています (Subramaniam P et al. *Clin Interv Aging.* 11:1263-1276, 2016)

VRを使い映像・音に加えて3次元の臨場感も伴った回想法が、いつまでもすこやかに体も心も頭も元気に過ごすために有効なのではないか？

VRによって故郷などの思い出の場所に行き、**過去の楽しい記憶を呼び起こす！**

II

VRを使った新しい回想法



脳の活性化による
活力の増進？

(助成：一般社団法人大阪薬業クラブ)

全体のスケジュール



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

OPEN 2021

			実施時期・実施日											
		開始前	1ヶ月目				2ヶ月目				3ヶ月目			
			1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	6週目	7週目	8週目	9週目	10週目	11週目	12週目
		別途日程調整	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
内容	検査方法													
心と体に関する質問	MMSE-J	✓												○
	やる気スコア	✓				○				○				○
ご家族にお願いさせていただくアンケート	J-ZBI	✓				○				○				○
	DBD13	✓				○				○				○
VR旅行の感想（気分・満足度）	NRS		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	STAI Y-1		⦿	⦿	⦿	⦿	⦿	⦿	⦿	⦿	⦿	⦿	⦿	⦿
心と体の検査（自律神経機能・脳波）	自律神経機能測定器	✓				○				○				○
	脳波計	✓												○

○：VR閲覧後実施

◎：VR閲覧前後に実施

心と体に関する質問：MMSE-J



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

OPEN 2021

表. Mini-Mental State Examination (MMSE)

設問	質問内容	回答	得点
1 (5点)	今年は何年ですか	年	0 1
	今の季節は何ですか		0 1
	今日は何曜日ですか	曜日	0 1
	今日は何月何日ですか	月 日	0 1 0 1
2 (5点)	この病院の名前は何ですか	病院	0 1
	ここは何県ですか	県	0 1
	ここは何市ですか	市	0 1
	ここは何階ですか	階	0 1
	ここは何地方ですか	地方	0 1
3 (3点)	物品名3個（桜、猫、電車） 《1秒間に1個ずつ言う。その後、被験者に繰り返させる。正答1個につき1点を与える。3個全て言うまで繰り返す（6回まで）》		0 1 2 3
4 (5点)	100から順に7を引く（5回まで）。		0 1 2 3 4 5
5 (3点)	設問3で提示した物品名を再度復唱させる		0 1 2 3
6 (2点)	《時計を見せながら》これは何ですか		0 1
	《鉛筆を見せながら》これは何ですか		0 1
7 (1点)	次の文章を繰り返す 「みんなで、力を合わせて綱を引きます」		0 1
8 (3点)	《3段階の命令》 「右手にこの紙を持ってください」		0 1
	「それを半分に折りたたんで下さい」		0 1
	「それを私に渡してください」		0 1
	《次の文章を読んで、その指示に従って下さい》 「右手をあげなさい」		0 1
10 (1点)	《何か文章を書いて下さい》		0 1
11 (1点)	《次の図形を書いて下さい》		0 1
得点合計			



←（重なり合う五角形です）

心と体に関する質問：やる気スコア



やる気スコア



	全くない	少し	かなり	大いに
1) 新しいことを学びたいと思いますか？	3	2	1	0
2) 何か興味を持っていることがありますか？	3	2	1	0
3) 健康状態に関心がありますか？	3	2	1	0
4) 物事に打ち込めますか？	3	2	1	0
5) いつも何かしたいと思っていますか？	3	2	1	0
6) 将来のことについての計画や目標を持っていますか？	3	2	1	0
7) 何かをやるようとする意欲はありますか？	3	2	1	0
8) 毎日張り切って過ごしていますか？	3	2	1	0

=====

	全く違う	少し	かなり	まさに
9) 毎日何をしたらいいか誰かに言ってもらわなければなりませんか？	0	1	2	3
10) 何事にも無関心ですか？	0	1	2	3
11) 関心を惹かれるものなど何もないですか？	0	1	2	3
12) 誰かに言われないと何にもしませんか？	0	1	2	3
13) 楽しくもなく、悲しくもなくその中間位の気持ちですか？	0	1	2	3
14) 自分自身にやる気がないと思いますか？	0	1	2	3

合計 _____

ご家族にお願いさせていただくアンケート：J-ZBI



アンケート② 各質問について あなたの気持ち にあてはまると思う番号にまるをつけてください

	思わない	たまに思う	時々思う	よく思う	いつも思う
1 介護を受けている方の行動に対し、困ってしまうことがありますか	0	1	2	3	4
2 介護を受けている方のそばにいと腹が立つことがありますか	0	1	2	3	4
3 介護があるので家族や友人とつきあいづらくなっていると思いますか	0	1	2	3	4
4 介護を受けている方のそばにいと気が休まらないと思いますか	0	1	2	3	4
5 介護があるので自分の社会参加の機会が減ったと思うことはありますか	0	1	2	3	4
6 患者さんが家にいるので、友達を自宅に呼びたくても呼べないと思ったことがありますか	0	1	2	3	4
7 介護を誰かにまかせてしまいたいと思うことがありますか	0	1	2	3	4
8 介護を受けている方に対して、どうしていいかわからないと思うことがありますか	0	1	2	3	4

ご家族にお願いさせていただくアンケート：DBD13



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

OPEN 2021



アンケート③ 各質問について 介護を受けている方の最近1ヶ月で当てはまると思う 番号にまるをつけてくだ

さい

	まったくない	ほとんどない	ときどきある	よくある	常にある
1 同じことを何度も何度も聞く	0	1	2	3	4
2 よく物をなくしたり、置場所を間違えたり、隠したりしている	0	1	2	3	4
3 日常的な物事に関心を示さない	0	1	2	3	4
4 特別な理由がないのに夜中起き出す	0	1	2	3	4
5 特別な根拠もないのに人に言いがかりをつける	0	1	2	3	4
6 昼間、寝てばかりいる	0	1	2	3	4
7 やたらに歩き回る	0	1	2	3	4
8 同じ動作をいつまでも繰り返す	0	1	2	3	4
9 口汚くののしる	0	1	2	3	4
10 場違いあるいは季節に合わない不適切な服装をする	0	1	2	3	4
11 世話されるのを拒否する	0	1	2	3	4
12 明らかな理由なしに物を貯め込む	0	1	2	3	4
13 引き出しやたんすの中身を全部だしてしまう	0	1	2	3	4

VR旅行の感想の調査：満足度・副反応に対するNRS



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

OPEN 2021



満足度と副反応に関する調査票

被験者ID:()

	(全くない)				VR体験後						(かなりある)			
吐き気はありますか？	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
めまいはありますか？	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
頭痛はありますか？	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
満足度はどれくらいですか？	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			

VR旅行の感想の調査 : STAI Y-1



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

OPEN 2021

STAI Y-1

次の1から20までの文章を読んで、
たった今、あなたがどう感じているか、最もよくあてはまる箇所(番号)を
各項目の右の欄から選んで、○で囲んでください。
あまり考えこまないで、あなたの現在の気持ちを
一番よく表すものを選んでください。



	非常によくあてはまる	かなりよくあてはまる	いまいちあてはまる	全くあてはまらない
おだやかな気持ちだ	1	2	3	4
安心している	2	1	2	3
緊張している	3	1	2	3
ストレスを感じている	4	1	2	3
気楽である	5	1	2	3
気が動転している	6	1	2	3
なにかよくないことがおこるのではないかと心配している	7	1	2	3
満足している	8	1	2	3
おびえている	9	1	2	3
快適である	10	1	2	3
自信がある	11	1	2	3
神経過敏になっている	12	1	2	3
いらいらしている	13	1	2	3
ためらっている	14	1	2	3
くつろいでいる	15	1	2	3
満ち足りた気分だ	16	1	2	3
悩みがある	17	1	2	3
まごついていて	18	1	2	3
安定した気分だ	19	1	2	3
楽しい気分だ	20	1	2	3

自律神経機能の測定とは？



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

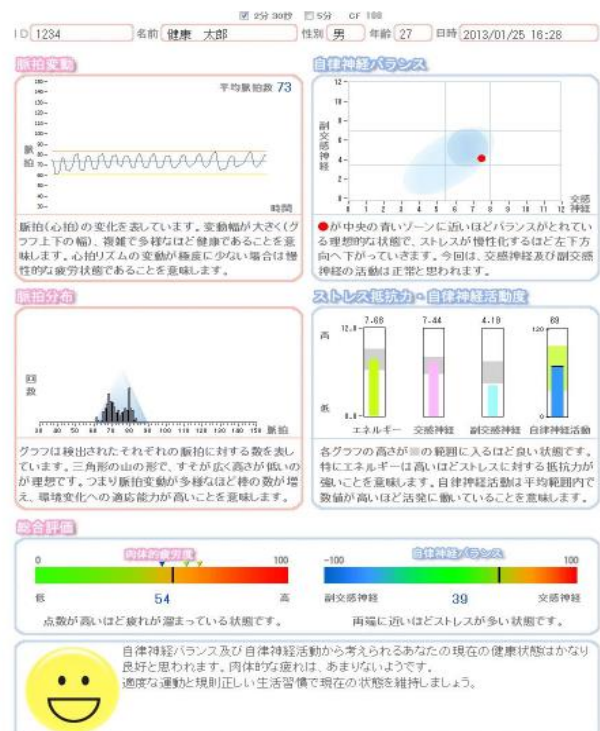
OPEN 2021

指先にセンサーを付けるだけで体内の
自律神経のバランスを簡単に測定できます



**測定結果はその場で印刷して
お渡しいたします！**

自律神経バランス分析結果





バーチャルリアリティ（VR）
を用いての場面。



VR介入群参加者

デイサービスセンター つどうホール利用者 5名

大仙もずの音 デイサービスセンター利用者 8名

VR非介入群参加者

藤井寺 デイサービスセンター利用者 7名

デイサービスセンター つどうホール利用者 12名

新型コロナウイルスの感染予防のため、自粛を強いられるため、家庭生活での体操及び『脳トレーニングシート』を18地域に配布。

配 布 地 域	
藤井寺市地区	
藤井寺会（南藤井寺地区）	野中地区
陵南町地区	藤ヶ丘西地区
さくら町地区	中小山地区
春日丘新町地区	小山藤の里町地区
川北地区	西古室1丁目地区
青葉会（川北地区）	藤井寺地区
大井地区	南藤井寺地区
藤ヶ丘1・2丁目地区	松明会
堺市地区	
やわらぎ会7班	やわらぎ会9班



新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から今年度も、介護予防教室を中止せざるを得ない状況になりました。そこで家庭内における体操と『脳トレーニングシート』を開発し、約 1200 件の方々に昨年度より継続的に配布を行った。

2022 年度も継続して配布して参る。

藤井寺市の高齢者数

令和4年3月31日現在

総人口 63,408人

高齢者 18,167人

男 7,717人

女 10,450人

高齢化率 28.7%



《高齢者年齢別人口内訳》

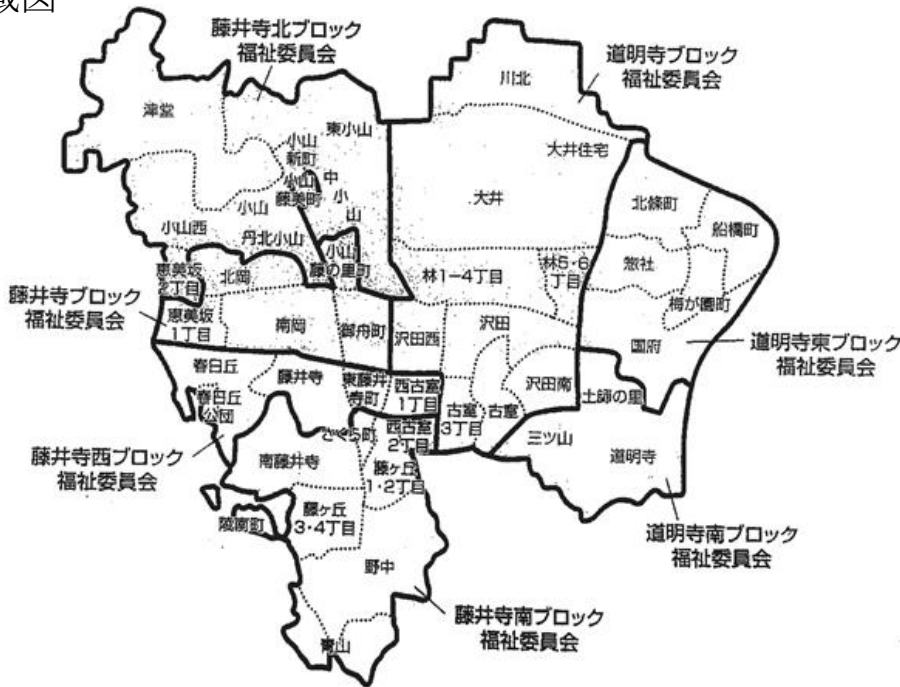
65～69歳	3,486人
70～74歳	4,794人
75～79歳	3,712人
80～84歳	3,154人
85～89歳	1,908人
90～94歳	853人
95～99歳	229人
100歳以上	31人

要介護者認定状況

令和3年4月末現在

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
合計	797人	453人	603人	599人	412人	476人	365人	3705人

藤井寺市地域図



堺市の高齢者数

令和4年3月31日現在

総人口 823,634人

高齢者 233,508人

男 99,111人

女 134,397人

高齢化率 31.3%



《高齢者年齢別人口内訳》

65～69歳	43,636人
70～74歳	63,922人
75～79歳	48,428人
80～84歳	40,440人
85～89歳	23,822人
90～94歳	9,931人
95～99歳	2,873人
100歳以上	456人

要介護者認定状況

令和3年9月末現在

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
合計	12,639 人	8,681 人	9,362 人	8,600 人	6,356 人	6,742 人	4,913 人	57,293 人

堺市地域図

